

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成24年度 技術情報第11号（サトウキビのイネヨトウ）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

平成24年度 技術情報第11号

- 1 対象病害虫      イネヨトウ
- 2 対象作物        サトウキビ（新植夏植）
- 3 発生地域        奄美地域
- 4 情報の内容
  - （1）奄美地域のサトウキビほ場におけるメイチュウ類（特にイネヨトウ）の発生ほ場率が、平年よりやや高く、被害度は、昨年と同程度となっている。
  - （2）今後、翌春にかけて被害拡大が懸念されるため、新植夏植においては、適切な防除対策を施す必要がある。
- 5 情報の根拠
  - （1）12月のメイチュウ類の発生ほ場率は、各島とも昨年同時期と同程度で、被害度も与論島を除き昨年同時期と同程度であるが、特に奄美大島においては、多発生ほ場が多く認められている（第1表）。
  - （2）メイチュウ類の発生ほ場率の推移も、昨年と同様に10月以降増加傾向にあり（第1図）、今後、被害の拡大が懸念される。

第1表 新植夏植におけるメイチュウ類の被害発生ほ場率（12月）

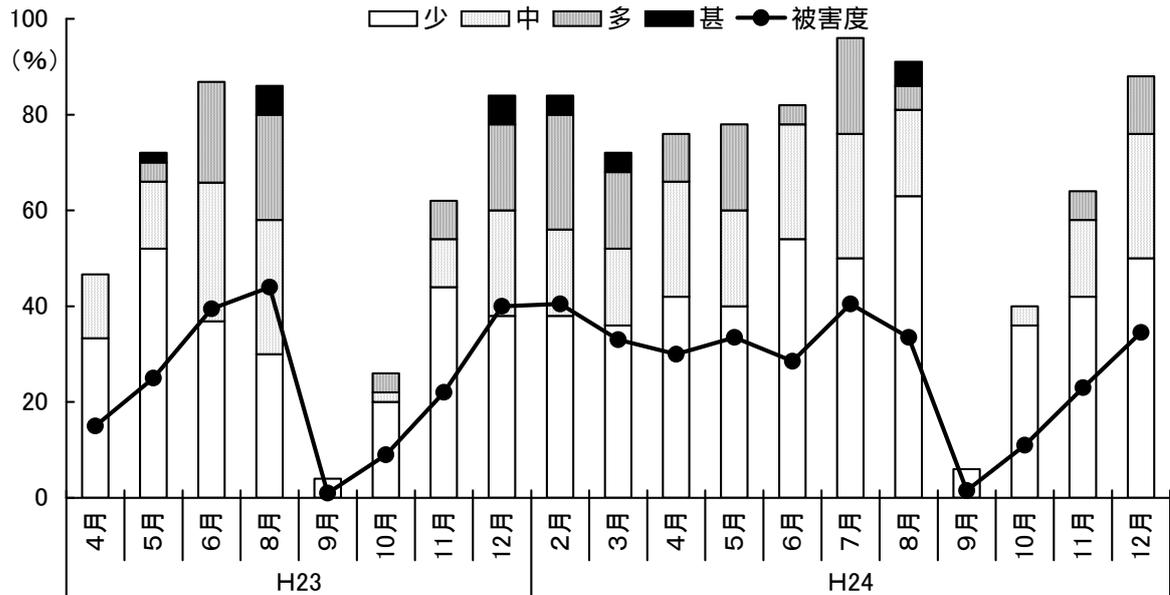
|       | 調査ほ場数   | 発生ほ場率 (%) | 発生程度 <sup>注1)</sup> 別ほ場率 (%) |    |    |    |     | 注2) 被害度 |    |
|-------|---------|-----------|------------------------------|----|----|----|-----|---------|----|
|       |         |           | 甚                            | 多  | 中  | 少  | 無   |         |    |
| 奄美大島  | H24.12月 | 30        | 97                           | 0  | 20 | 37 | 40  | 3       | 43 |
|       | H23.12月 |           | 90                           | 3  | 20 | 33 | 33  | 10      | 43 |
| 喜界島   | H24.12月 | 5         | 60                           | 0  | 0  | 0  | 60  | 40      | 15 |
|       | H23.12月 |           | 20                           | 0  | 0  | 0  | 20  | 80      | 5  |
| 徳之島   | H24.12月 | 5         | 60                           | 0  | 0  | 20 | 40  | 40      | 20 |
|       | H23.12月 |           | 80                           | 0  | 0  | 0  | 80  | 20      | 20 |
| 沖永良部島 | H24.12月 | 5         | 80                           | 0  | 0  | 20 | 60  | 20      | 25 |
|       | H23.12月 |           | 100                          | 0  | 0  | 20 | 80  | 0       | 30 |
| 与論島   | H24.12月 | 5         | 100                          | 0  | 0  | 0  | 100 | 0       | 25 |
|       | H23.12月 |           | 100                          | 40 | 60 | 0  | 0   | 0       | 85 |
| 地域全体  | H24.12月 | 50        | 88                           | 0  | 12 | 26 | 50  | 12      | 35 |
|       | H23.12月 |           | 84                           | 6  | 18 | 22 | 38  | 16      | 40 |
|       | 平年      |           | 75                           | 2  | 11 | 23 | 38  | 25      | 32 |

注1) 発生程度 甚：被害茎率 21%以上，多：被害茎率 11~20%

中：被害茎率 6~10%，少：被害茎率 1~5%

注2) 被害度は、発生程度別ほ場率にそれぞれ甚，多，中，少ごとの重み付けをした値

$$\text{被害度} = \frac{4(\text{甚のほ場率}) + 3(\text{多}) + 2(\text{中}) + 1(\text{少})}{4}$$



注1) 調査ほ場数は50か所

注2) 9~3月は夏植を、それ以外は春植及び株出を調査

第1図 メイチュウ類の程度別被害発生ほ場率の推移 (奄美地域)

## 6 防除対策及び防除上注意すべき事項

- (1) ほ場内及び周辺の除草を徹底する。
- (2) 培土時には粒剤を施用し、土壌とよく混和させ、効果を安定させる。
- (3) 粒剤施用後に被害を確認したら、スミチオン乳剤を葉鞘内に十分薬液が浸透するように丁寧に散布する。なお、1週間おきに2~3回散布することで防除効果が高まる。
- (4) 農薬の使用に当たっては、表示ラベルを確認の上、使用基準を遵守するとともに、飛散防止に十分注意する。



写真1 イネヨトウ幼虫



写真2 ほ場周辺部で畝に沿って芯枯れ被害を受けているほ場  
(12月14日, 奄美市笠利町)